



ゴロスケ報々



写真：KFC 大浦

イタチ 2022年5月にセンター横のトイレ前に姿を見せてくれました

●2022年度 安全管理講習会 実施報告●

友の会活動報告

2022年度の安全管理講習は、7月24日(日)の10:00~11:30で実施しました。「横浜の緑地における自然災害、その状況と対策」というタイトルで、横浜市環境創造局みどりアップ推進課から、横浜自然観察の森やその周辺緑地において大雨や台風のたびに発生している土砂崩れや倒木のような自然災害の状況とその対策について説明をいただきました。

開催形式は全面的にオンラインで、みどりアップ推進課から清水担当係長、山野さん、竹内さんが市庁舎から参加され、山野さんが説明と質疑応答を担当されました。当会からは、山口会長をはじめ各プロジェクトから計18名、観察センターからは掛下チーフレンジャー、尾崎レンジャーが参加しました。

内容は、近年の自然災害の事例、被害が大きくなる要因、横浜市での対策事例、そしてミズキの園路の崩壊に対する今後の予定、という流れでした。説明にあたっては文字は最小限にして、実際の被害現場や対策の様子をたくさんの写真で説明するという臨場感ある構成でした。

質疑応答も30分以上にわたって活発に行われ、あるいは当会会員からも提案や情報提供が行われ、皆さんの関心の深さが感じられました。

複数の会員から、参加できないが資料がほしい、とのご連絡をいただいておりますが、スライドの大部分が写真で解説を要するため、また枚数も約60スライドと多いため、講習会の録画を8月以降、観察センターでご覧いただくことになりました。

ご希望の方は、観察センターにご相談ください。

安全管理担当 中塚

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●7月定例会報告●

事務局からのお知らせ

日時 2022年7月17日(日) 9:15~11:20 オンライン併用
出席者 青木、秋元、今村、大浦(司会)、大西、落合、篠原、関根(書記)、高橋、高柳、中里、中塚、西山、星隈、村松、山口、観察センター 掛下R、尾崎R

議題 1 友の会の6月から7月までの行事・活動報告をしました。

対面で実施した行事

6月「森を守るボランティア体験」(雑木林ファンクラブ担当)参加者6名

6月、7月「季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)参加者計10名

6月、7月「みんなでバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)参加者計27名

7月「野草の助っ人」(野草の調査と保護)2回計7名

通常の活動は以下のPJが活動しました。

カワセミファンクラブ、雑木林ファンクラブ、畑プロジェクト、野草の調査と保護、

森の絵本作りの会、定点カメラで動物調査

2 10月までの友の会行事・活動予定を確認しました。

実施予定の行事

「森を守るボランティア体験」観察センター共催 事務局担当

「季節の森を歩こう」「みんなでバードウォッチング」「森の作業体験」、「定点カメラで動物調査」(会員対象)が予定されています。

最終ページの行事スケジュール、ブログ等で確認の上ご参加ください、予定している行事も感染状況等により、中止になることもあります。

3 その他

10月に予定されていた「秋の森まるごと体験」はPJの活動が通常のかたちに戻っていないことなどから、中止と決定しました。また12月に予定されていた「望年会」も中止とします。

4 センターより

センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉 9月18日(日)9:15~を予定しています。

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

●友の会プロジェクト紹介(カワセミファンクラブ)●

カワセミファンクラブ(メンバー10人)には昆虫グループと野鳥グループの2つがあり、それぞれ昆虫調査、野鳥調査に取り組んでいます。またその成果を自然観察センターで写真展として公開、自然情報として来園者に提供、最終的には調査報告として広く世間に公開する活動を行っています。

また、この森の環境を保全する活動にも積極的に取り組んでおり、友の会行事となっている「ハイド前の環境整備」、「コナラの谷の環境整備」の2つには友の会会員(中学生以上)なら参加できますので、奮ってご参加をお願いします。

カワセミファンクラブ 大浦

●友の会新規メンバー紹介●

2022年1月以降に入会された新しい仲間12名を紹介します。

笹本 秀次さん

笹本 博子さん

笹本 優花さん

小向 伸一さん

古河 博さん

狩野 友花さん

村田 一誠さん

岩崎 俊秀さん

鈴木 信治さん

山口 正子さん

内田 裕さん

米原 光洋さん

(会員番号順)



アサガオのバッタ

コロナでオンラインばかりなので森のネタがない。近くの森もナラがれで、えだがふってきてあぶないので林の中には入れない。だからお庭のはなしで許してもらおう。緑のカーテンのアサガオ(①)に毎年6月ごろ、小さなバッタが、「1葉っぱ1バッタ」ぐらいたくさんいる(②)。わが家では人気の、頭のとがった「ミニ」バッタ。もともと虫がにがてな家族も、小さなころは平気だったのに大きくなったらいつのまにか虫がにがてになってしまった子どもたちも、「こバッタ」とか言ってかわいがってくれる。せすじがシュッとのおびて「しせい」がよいのがポイントらしい。だから頭の丸いほかのバッタではいけないらしい。



①



②



イラスト：Mu

夏休みに入ったころ、あんまり見かけなくなかったのでさがすと、アサガオの葉っぱはあなだらけなのに、なかなか見つからない(③)。とりに食べられたのかな。きっとなかまはへっているだろう。お庭をさがすと、草だらけの足もとからぴょんぴょんとび出す。いたいた。ちょっと大きくなったけどまだまだ、まわりのコナラどんぐりのぼうしとくらべてもわかるとおり小さいバッタ(④)。

おくのほうのクヌギどんぐりの木が2回目の萌芽更新(ぼうがこうしん)中だったりしてまるで山林のようにワイルド(あれほうだい)なお庭。落ち葉や草のたねやいろんな生きものをふやしてしまっているかもしれないので、きれいずきな人にはご近所めいわくかもしれないお庭(⑤)。



③



④



⑤

調べたら、バッタはアサガオを食いあらすがい虫としてたいじされているみたい。もしかしたら、ほかのお庭からもにげてきているのかも。かわいそうなので、わが家では、今年も草をぜんぶはぬかずにすこしのこしておこう。おやおや、あれほうだいをバッタのせいにははいけませんよ。自分もふくめてズボラな家族のみんな。いそがしいからとか、暑いからとか言ってないで、たまには半分ぐらい庭そうじをして、きせつのバッタに会いに行きましょう。(やまひょん)

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 ブログより

今回は、2021年8月9日付け「畑プロジェクト」さんのブログです。
この日はお昼前に突然、激しい雨が降り出したようです。

編集担当

今年の畑は、セミの抜け殻が多い。サトイモの葉にあった抜け殻は、アブラゼミの抜け殻だろう。



虫をあまり見かけない中、ヤマトシジミがいた。模様の黒点ひとつひとつが、図鑑と全く同じ位置にあるなんて不思議だ。触覚の縮も決まった数に違いない。



もうミズヒキの実ができていた。白い柱頭が長く突き出て、これがかぎ状に曲がってかぎ爪となり、洋服にひっつくひっつき虫になるようだ。



少しだがササゲの実が熟していた。サヤの中には赤い実があった。これより1ヶ月程遅く種を蒔いたものは、これから実が熟す。こちらは、少し多い。



ヤマイモ類の蔓は成長が止まっている様に見える。ムカゴが少しできてきている。地下の方のイモはどうだろうか。初冬の収穫が楽しみである。



雑草の整理をしている11時ごろ、突然雨が降り出した。それも激しかった。これはたまたま、すぐに撤収することにした。

●森を守るボランティア体験●

開催日：2022年6月19日（日）10:00~12:00
 担当：雑木林ファンクラブ スタッフ6名参加、一般参加者：6名
 久し振りに恒例の森や友の会の説明をセンター会議室にて実施しました。
 その後、クヌギの林に移動して、粗朶柵作りを体験してもらいました。
 短時間で完成形まで体験したので、参加者は充実感があったと思います。

雑木林ファンクラブ 星隈



●野草保護の助っ人●

7/12（火）と7/16（土）、9:30-11:30、希少な植物を保護するための選択的除草を行いました。希少種の中に混ざって生えているアズマネザサは剪定バサミで1本ずつ根元を切り、外来種のセイタカアワダチソウを抜きました。セイタカアワダチソウの葉っぱは、希少種の2種の葉っぱとよく似ています。なので、希少種の花が咲いて見分けやすい、この時期に作業します。セイタカアワダチソウは多年草なので、根っこから抜かないと、枝分かれしてまた伸びますし、来年また生えてきてしかもでっかくなります。また、競争相手の植物が生えてこないように、根から阻害物質を出しますので、希少種には良くありません。今年は、いつもはまだ出ていないはずの別の希少種もたくさん芽を出していました。こちらはまだ10cmくらいの丈なので、間違っただけで踏まないように、例年よりもさらに気をつけながらの作業です。選択的除草は、このように、気を使いながらのちまちまとした作業ですが、機械ではできないこういう作業にこそ、人手が必要です。

12日には、試みとして、会員以外の方たちにも参加を呼びかけました。帰り道は、保護している他の植物の様子も見ながら、昆虫に詳しい方たち、他の場所で外来種駆除をしている方、数十年観察の森を散策されている方、他のPJの方たちと、生き物や管理方法などの情報交換もしました。集まってくださった助っ人の方々、ありがとうございました！

次回の行事は12月を予定しています。またよろしくお願ひいたします。

(7/12(火) 一般2人、会員4人、スタッフ5人、 7/16(土) 会員2人、スタッフ3人)

野草の調査と保護PJ [ふじた・かおる]

●森の作業体験(間伐体験) ●

友の会行事のお知らせ

日時：2022年9月24日（土）10:00~12:00

萌芽更新などを目的にした木を伐採する体験ができます。薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。ドラム缶炭焼見学も予定しています。

集合：10:00までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：5名（中学生以下、保護者同伴） ※多い場合は先着順とします。

申込期間：8月24日（水）～ 9月21日（水）

※新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が発令されるなど、やむを得ず中止する場合がありますことをご了承ください。

Fax (045-894-8892) (観察の森) または、
 Eメール (entry@ynstomo.org)

担当：雑木林ファンクラブ



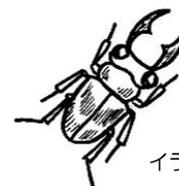
●森を守るボランティア体験●

日時 2022年9月25日（日）9:30~12:00

申し込み：メール yokohama-nc@wbsj.org

または Fax 045-894-8892

担当：事務局



イラスト：Mu



自然観察センターだより



2022年 8月号

お世話になりました!

金井 菜摘 (6月末にて退職)



業務を通じて、皆さんのボランティア活動に対する熱意と、自然に対する思いの強さをいつも感じていました。そんな環境の中で学び過ごせたこと、とても貴重だったなと思っています。今後は大好きな自然と美術の分野を活かして、さらに心がときめく方面へとチャレンジしていきたいと考えています!

3年と少し、大変お世話になりました。またどこかでお会いできたら嬉しいです。

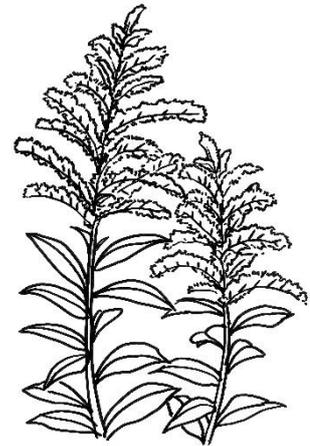
【報告】保安全管理フォローアップの会(6/11(土) 13~15時)

○参加者：友の会3名(石塚康彦さん、内田裕さん、渡部克哉さん)

レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：セイタカアワダチソウの調査と除草

おとしからから始めたこの調査では、セイタカアワダチソウの駆除効果が季節によって変わるのかを調べています。調査区画内の駆除の効果は今年も明確です。昨年も駆除の効果が表れていましたが、今年はさらにセイタカアワダチソウの勢いがなくなっており、代わってオギやススキが伸び始めた区画もありました。一方で昨年の調査では7月と9月での駆除効果の違いを明らかにすることはできませんでした。次回(9月)のフォローアップは、毎年9月に実施する調査区画の調査と除草の続きを行います。これで3年間続けた季節による効果の調査を終了とし、調査結果を検証したいと思います。ぜひ、次回のフォローアップへも皆さんのご参加をお待ちしています。



【お知らせ】保安全管理フォローアップの会 今後の予定

★次回 9/10(土) 13~15時

○内容：セイタカアワダチソウの調査と除草 上記報告を参照。集合：研修室

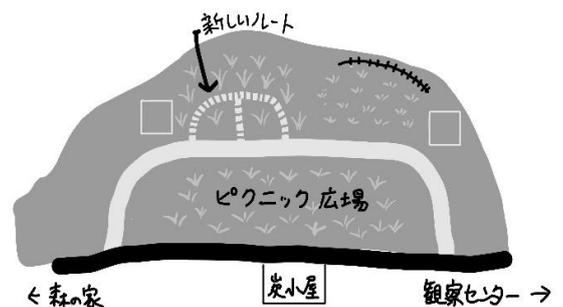
※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

【お知らせ】ピクニック広場に新しい散策路ができました

ピクニック広場には3つの草地がありますが、その中の一つであるススキの草地に今回新しく散策路を作りました。「一般来園者やイベントでの利用の拡大」、「ススキを中心とした草地維持のための活動がしやすいようにする」という、2つの目的で行いました。

散策路の一部は、バッタと植生調査の地点の中にあるため、生きものたちの変化も追って見ていきたいと思えます。

秋には大きなバッタや花々を、冬には食べものを探す鳥たちを観察することができますし、人の背丈よりも高い草の間を通れば、ちょっとした探検気分を味わうことができます。ぜひ足を運んでみてください。



【募集】森の生きもの講演会

今年度の森の生きもの講演会はハチ！

小野正人氏（玉川大学学術研究所）を講師にお迎えし、社会性ハチ類の生活史や生態系での役割などについてご講演いただきます。

ぜひお話を聞きにいらしてください。

開催日時：10/29(土) 13:30～ (90～120分予定)

開催形態：対面 ※新型コロナの拡大状況によりオンライン開催に変更。

※詳細や申込方法は今後のセンターHP・イベントチラシをご覧ください。※

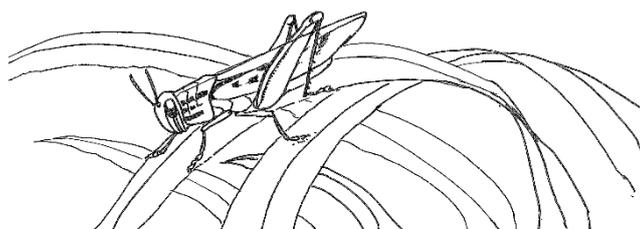


【お知らせ・募集】イベント「秋の森おさんぽラリー」サポーター募集

10/8(土)～10(月・祝)の3日間のイベントサポーターを募集します。地図を手に森の見どころを探しに出発する来園者へ、受付でルールや注意する生きもの説明を行ったり、ゴールで観察の振り返りをします。各日、数名を募集します。1日だけ、数時間だけ、OKです。ご協力くださる方や詳細を知りたい方は、レンジャー大久保<ohkubo@wbsj.org>までお声掛けください。※新型コロナの感染拡大状況によってはイベントの変更やボランティア活動の中止をすることがあります。

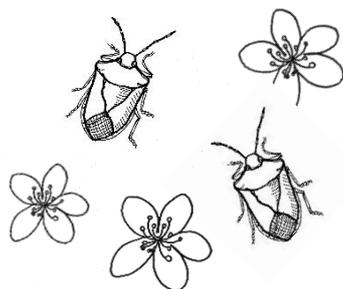
【お知らせ】企画展「タンポポの道を歩こう 明るい林と草はらの生きもの」

9月より「タンポポの道」を切り口に、新たな企画展が始まりました。タンポポの道は園内でも特に、人が生きものたちのために林や草はらのお世話をしているエリア（雑木林管理ゾーン）にあります。このエリアは開園前、開発による造成で一度は裸地になったところでした。景観はどのように移り変わり、どんな生きものが利用しているのでしょうか。一年間開催します。友の会の活動の際は、お立ち寄りください。



ボランティアさん ありがとう

6月1日～7月29日



6/1～ カワセミファンクラブのみなさま

自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供

6/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

6/4・14・23 岸本道明さん

ナラ枯れ対策のトラップの設置・巡回へのご協力

6/12・7/10 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報のご提供

7/6 雑木林ファンクラブのみなさま 関係者駐車場の草刈り

5/25、6/1・8・16・23・29、7/6・13・20・27

水上重人さん 岩崎由春さん ホタル調査への同行

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●森の作業体験(間伐体験)

開催日：9/24(土) 10:00～12:00
集合：10:00までに炭焼き小屋
対象・定員：5名(中学生以下は保護者同伴)
申込期間：8/24(水)～9/21(水)
申込：Fax. 045-894-8892(観察の森)
または、Eメール(entry@ynstomo.org)
担当：雑木林ファンクラブ

★森を守るボランティア体験

開催日：9/25(日) 9:30～12:00
申込：Eメール yokohama-nc@wbsj.org
または Fax. 045-894-8892
担当：事務局

●友の会 季節行事●

●普及行事「秋の特別写真展」

今年の特別写真展は「横浜自然観察の森の夏の野鳥とトンボ類」と題しまして、この森で見られる夏の野鳥とトンボ類の写真を公開します。ご期待下さい。

場所：自然観察センター
期間：9/25(日)～11/26(土)
担当：カワセミファンクラブ

●自然観察センター主催行事●

■秋の森おさんぽラリー

森のみどころを探して歩こう！
開催日：10/8(土)～10/10(月・祝)
受付時間：10:00～15:00(所要時間60分)
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
参加方法：観察センターでシートを入手し各自散策。無料

★ 注意 ★

新型コロナ対策、熱中症アラートの状況によっては、各行事の募集中止、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)
で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●季節の森を歩こう(対面開催)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
9/4(日)・10/2(日)
11:00～12:00
定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)
申込：メールで entry@ynstomo.org
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
事前申込制で活動しています！
9/11(日)・10/9(日)
9:30～12:00(雨天中止)
定員：25名(事前申込、応募多数の場合抽選)
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)
申込：メールで entry@ynstomo.org
申込内容等、詳細はブログ「森のでできごと」参照
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●友の会 定例行事●(友の会会員向け)

●定点カメラで動物調査

9/10(土)・10/8(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。
センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け(最大6名まで)
持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参
集合：ゴロスケ館 5月～11月の第2土曜日

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
10月は参加者募集中止 11月以降未定です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
2022年度の行事活動は未定です。

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～
2022年度は行事活動は中止です。

発行日 2022年8月21日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: jimukyoku@ynstomo.org